

令和5年度進行管理・評価シート
竹田市歴史的風致維持向上計画（平成26年6月23日認定）
(最終変更平成29年3月31日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1) 1 計画推進体制 1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) 1 景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項 2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) 1 建物修景補助事業 2 史跡岡城跡保存整備事業 3 道路美化化事業 4 城下町老朽危険空き家等除却促進事業 5 城下町案内ガイド養成事業 6 城下町・岡城跡歴史学習事業 7 城下町案内マップ等制作事業 8 城下町移住定住支援事業 9 城下町・岡城跡回遊促進事業 3 4 5 6 7 8 9 10 11
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) 1 文化財の修理に関する事項 2 文化財の保存又は活用に関する事項 3 文化財の周辺環境の保全に関する事項 4 文化財の防災に関する事項 5 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項 12 13 14 15 16
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 1 城下町の空き地・空き店舗の活用について 3 伝統文化の継承について 17 18
⑥その他(効果等)(様式1-6) 1 計画認定による観光客数の推移について 19
□法定協議会等におけるコメント(様式4) 20

進捗評価シート

(様式1-1)

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
計画推進体制		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 本計画の推進体制については、まちづくり部局の建設課、文化財保護部局のまちづくり文化財課が計画推進の事務局とし、府内の関係各課で組織されている「城下町再生プロジェクト府内会議」を計画推進のための府内の連絡・調整を行う。歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「竹田市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。また、必要に応じて文化財・都市計画・景観等に関連する委員会等に協議を行い、指導・助言を得る。また、文化財の所有者・管理者や文化財等の保存・活用を行う市民や関係団体との連絡・調整及び支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

竹田市歴史的風致維持向上協議会を2回開催(R5.9.20、R6.1.15)した。計画最終年となる本年度は、計画の最終評価及び第2期計画の策定について意見集約を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上協議会において具体的な事業の進捗状況について議論することで、住民目線での事業推進の状況を理解することができた。
-------------------------------	--

状況を示す写真や資料等



竹田市歴史的風致維持向上協議会の様子(2023.9.20)

進捗評価シート

(様式1-2)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度 令和5年度	現在の状況														
景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手														
<p>本市は、大分県南西部に位置し、市の中心部は江戸時代には岡藩7万石の城下町として栄え、古くから奥豊後の政治・文化・経済・交通の拠点である。山城であった岡城跡の麓には、今なお旧藩時代の城下町の面影を残す武家屋敷や寺社が立ち並び、独特的の風情が感じられる。平成の合併以前の旧竹田市においては、昭和54年に「伝統的文化都市環境保存地区整備事業計画」、平成13年に「竹田市域まちなみ環境整備方針」を策定し、城下町としての伝統と歴史的景観を生かしたまちづくりを行ってきた。</p> <p>平成17年4月1日に、旧竹田市と旧直入郡荻町、久住町、直入町が合併して新しい竹田市が誕生したことで、本市は、城下町の景観以外にも牧草地や温泉街等、魅力的で多様な景観を持つ町となった。</p> <p>しかしその一方で、幹線道路沿いの看板の乱立、伝統的なまちなみの喪失、山林や農地の荒廃など、景観を阻害する動きも少なくなく、新たなまちづくりの柱の一つとなる景観形成の必要性が高まってきた。</p> <p>このような背景のもと、新市としての景観形成のビジョンを再構築するため、平成27年度に竹田市景観計画を策定した。竹田市景観計画は、本市における良好な景観形成に関する理念や、景観計画の区域、景観形成の方針、届出を要する建築行為等の基本事項をまとめたもので、個性ある美しいまちづくり及び歴史的風致に配慮したまちづくりを進めるための計画である。</p> <p>個性ある自然景観、歴史・文化の景観、くらしの景観が市全域に広がっていることから、市全域を景観計画区域とし景観形成を行う。また、岡城、城下町、それらの周辺地域は、史跡等環境保存条例により、これまで歴史的文化遺産の保存が重点的に取り組まれてきており、「竹田市歴史的風致維持向上計画」においても重点区域としている。このため、本計画においても「景観形成重点地区(地区名は城下町地区とする)」として位置づけ、より詳細な景観誘導を図る。</p>																
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																
<p>令和5年度は景観計画区域の届け出が23件あった。申請内容については建築物の改装や工作物の新設などであった。色彩等について調整することで城下町地区や岡城周辺の歴史的風致にあつたまちなみを維持することができた。また、令和5年度中、景観審議会を1回開催(2023.4.13開催)、歴史的街並み景観形成補助金審査委員と景観審議会の合同研修として杵築市を視察(2023.6.5)を実施し、修景事業の審査や城下町の景観保全をテーマに担当課職員と意見交換を行った。した。</p>																
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)															
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観条例、景観計画遵守の徹底を行う。															
状況を示す写真や資料等																
<p>令和5年度竹田市景観計画区域内行為の届出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>行為の種類</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築物の建築等</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>工作物の新設等</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>開発行為</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>土地の形質変更等</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>木竹の伐採</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>物件の堆積等</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			行為の種類	件数	建築物の建築等	7	工作物の新設等	12	開発行為	0	土地の形質変更等	2	木竹の伐採	2	物件の堆積等	0
行為の種類	件数															
建築物の建築等	7															
工作物の新設等	12															
開発行為	0															
土地の形質変更等	2															
木竹の伐採	2															
物件の堆積等	0															
 																
<p>杵築市での合同研修の様子</p>																

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和5年度	現在の状況		
建物修景補助事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成13年度～令和5年度			
支援事業名	社会资本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・建物修景事業(単独)			
計画に記載している内容	<p>竹田城下町地区における民家や店舗の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で屋根・外構等の建物修景を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行う場合に、経費の一部について補助を行う。</p> <p>竹田城下町の町割りは、城下町が形成された400年前の町割りがほぼそのまま引き継がれてきたものであり、往時の生活空間や情感を体感できる箇所が点在している。本事業による建物修景等を行うことで、建物と城下町のさらなる調和が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>平成25年に城下町である中心市街地内に計画された東西南北に縦横断する都市計画道路を廃止し、400年続く町割り、景観、風致を活かしたまちづくりを強化した。近年では、旧都市計画道路沿線地域から「まちづくり協定」を締結する地区が出てきており、建物修景事業の要望・着手が行われるようになっている。</p>				
令和5年度建物修景事業:3件実施				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	第2期計画へ引き継ぎ、今後も計画に沿った事業推進を図っていく。			
状況を示す写真や資料等				
<h3>建物修景事業</h3> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>修景前</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>修景後</p> </div> </div>				

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度																令和5年度																				
項目																現在の状況																				
史跡岡城跡保存整備事業																■実施済 □実施中 □未着手																				
事業期間	昭和63年度～令和5年度																																			
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金・文化資源活用事業費補助金																																			
計画に記載している内容	文禄3年(1594)の初代藩主中川秀成の入部後、造営が着手された岡城跡は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行つた上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な公開活用を促進するための環境整備を行う。																																			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																				
岡城跡の通路整備及び景観整備として、支障木の伐採を実施し岡城跡の魅力向上を図った。また、城跡を形成する急崖部の岩盤について落石等の危険性があるため対策工事、令和4年9月の台風により被災した畠倉南側石垣の災害復旧工事を実施した。																																				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																			
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	第2期計画へ引き継ぎ、岡城跡保存活用計画に基づき、保存・整備・活用の取組みを推進する。																																			
状況を示す写真や資料等																																				
<p>岡城跡大手登城口通路整備実施 前</p> 																																				
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>岡城跡大手登城口通路整備実施 後</p> 																																				
岡城跡年度別入城者数(H17～R5) ※単位(人)																																				
年 度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																	
入城者数	102,473	96,931	93,202	97,191	85,990	71,042	67,130	76,148	68,326	76,941	75,344	53,481	59,834	60,000	74,315	46,117	41,548	55,112	55,882																	
備 考	市町合併							城下町 400年祭		計画認定		熊本地震				新型コロナ	新型コロナ	新型コロナ																		

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和5年度	現在の状況		
道路美化事業		■実施済 □実施中 □未着手		
事業期間	平成13年度～令和5年度			
支援事業名	社会资本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(H26～R1)、社会资本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)(H27～R1)			
計画に記載している内容	<p>竹田城下町の良好な景観形成を推進するため、市道本町八幡川・府内町・代官町・向丁・横町線を対象に、城下町全体の周辺の景観に調和した舗装整備を行うため、測量設計及びカラーブラック工事を実施する。</p> <p>竹田城下町には、多数の指定文化財等が集積し、多くの歴史的遺産が残されている。本事業を実施し、城下町一円の道路美化を行うことで、道路景観の改善を図るとともに、こうした歴史的遺産を活用しながら城下町の情景に合った道路整備を行うことで、城下町のまちなみの連続性の保全が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
令和5年度は1路線の道路美化を実施した。 市道上丁線 L=272.6m				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	第2期計画へ引き継ぎ、今後も計画に沿った事業実施を行う。			
状況を示す写真や資料等				
道路美化化(上丁線)  <p>美装化前</p>  <p>美装化後</p>				

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
城下町老朽危険空き家等除却促進事業		■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成26年度～令和5年度	
支援事業名	社会资本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業) 市単独	
計画に記載している内容	城下町の良好な景観形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適切に管理されていない老朽危険建物の除却に対し補助金を交付する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 令和5年度は15件(重点区域内1件)の老朽危険家屋除去を実施、安全な景観保全するとともに、城下町の景観風致の向上を図ることができた。今後も、必要に応じ実施していく。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) ■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない 街並み景観や歴史的風致の維持向上に直接的に関係する事業であり、第2期計画へ引き継ぎ積極的な取組を行っていく。	
状況を示す写真や資料等		
実施場所: 田町	 <p>撤去前</p>	
	 <p>撤去後</p>	

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和5年度	現在の状況		
城下町案内ガイド養成事業		■実施済 □実施中 □未着手		
事業期間	平成26年度～令和5年度			
支援事業名	市単独事業			
計画に記載している内容	観光ボランティアガイド・岡城こどもガイド・岡城楽しみ隊などの案内ガイドで城下町や岡城跡を案内する団体に対し、統一した内容で案内を実施できるようにガイド研修や案内テキスト等を作成するなど、必要な支援を行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
「岡城たのしみ隊」及び「岡城武者揃」等の団体の活動に対し支援を行い、市民参加によるガイド育成が図られた。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	第2期計画へ引き継ぎ、今後もガイド等の団体への支援を継続して実施していく。			
状況を示す写真や資料等				



「岡城武者揃」と「岡城楽しみ隊」の活動の様子

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和5年度	現在の状況																											
城下町・岡城跡歴史学習事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																											
事業期間	平成26年度～令和5年度																												
支援事業名	市単独事業																												
計画に記載している内容	竹田市内の文化財を中心とする文化財の視察、調査研究、学習による文化財理解を通して文化財愛護の啓発を行う文化財市民講座、歴史資料館や市立図書館に収蔵される古文書の読み下しを行う古文書解説講座、古文書を整理分類し基礎知識を学ぶ古文書実践講座などの充実を図る。また、各種講演会(由学館セミナー等)を実施し市民を対象とした郷土学習の機会を設ける。																												
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																													
主な開催した講演会・講座事業 ・竹田市歴史文化館ワークショップ 13回 延べ参加者数154名 ・講演会等開催 1回開催 11/23 記念講演「田能村竹田と花鳥図」 参加者約20名																													
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																													
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない																													
状況を示す写真や資料等																													
<p>歴史文化館 ワークショップ開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>ワークショップ名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/3～5/5</td> <td>鎧兜着付け体験</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>5/6</td> <td>ポップコーンのひつじをつくろう</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>7/2</td> <td>紙巻オルゴール</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>7/22</td> <td>藍染体験</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>9/15</td> <td>版木刷り体験</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>9/23・9/24</td> <td>葉っぱで器</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>10/15</td> <td>簡単金継ぎ</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>12/9・12/10・12/16</td> <td>クリスマスワークショップ</td> <td>34名</td> </tr> </tbody> </table> 			開催日	ワークショップ名	参加者数	5/3～5/5	鎧兜着付け体験	29名	5/6	ポップコーンのひつじをつくろう	10名	7/2	紙巻オルゴール	35名	7/22	藍染体験	22名	9/15	版木刷り体験	6名	9/23・9/24	葉っぱで器	12名	10/15	簡単金継ぎ	6名	12/9・12/10・12/16	クリスマスワークショップ	34名
開催日	ワークショップ名	参加者数																											
5/3～5/5	鎧兜着付け体験	29名																											
5/6	ポップコーンのひつじをつくろう	10名																											
7/2	紙巻オルゴール	35名																											
7/22	藍染体験	22名																											
9/15	版木刷り体験	6名																											
9/23・9/24	葉っぱで器	12名																											
10/15	簡単金継ぎ	6名																											
12/9・12/10・12/16	クリスマスワークショップ	34名																											
竹田市歴史文化館ワークショップの様子(9/24葉っぱで器)																													
																													
講演会の様子(11/23「田能村竹田と花鳥図」)																													

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況		
城下町案内マップ等制作事業		■実施済 □実施中 □未着手		
事業期間	平成26年度～令和5年度			
支援事業名	単独事業			
計画に記載している内容	回遊ルートや文化財などの情報をわかりやすく解説したパンフレットを作成し、城下町を訪れる来訪者に配布する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
城下町を訪れる観光客に対し、案内マップや各種パンフレットを配布し情報提供を行うことで、効率よく城下町の散策が可能となり、回遊性の向上につながった。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	来訪者からの意見収集等を実施し、必要なパンフレット及び案内マップを作成する。			
状況を示す写真や資料等				
				
新たに作成した岡城跡ガイドパンフレット				

進捗評価シート

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

(様式1-3)

項目	評価対象年度 令和4年度
城下町移住定住支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～R5年度
支援事業名	単独事業
計画に記載している内容	城下町に様々な文化活動の担い手を一定期間招聘し、移住を視野に入れた創作活動の場を提供する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
今和5年度は竹田市歴史文化館を会場に、7月28日～8月27日にかけて竹田発の現代アート展「Japan Gallery I am here Vol.3～壮途～」を開催した。コラボ企画としてアーティストトークやコラボライブが開催された。 7/30 アーティストトーク 8/23 ミヤタコーケイ コラボレーションライブ	
進捗状況 ※計画年次との対応	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	引き続きWebサイト「Japan Gallery」や「竹田総合学院TSG」を活用して竹田のアートに関する情報発信を行うとともに、アーティストの移住を促進する。 また、移住したアーティストが地域に馴染んで定住するよう、市民との交流の機会を設ける。
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
 <p>「Japan Gallery」の紹介パンフレット</p> <p>パンフレットの表紙には「I am here Vol.3～壮途～ Japan Gallery third exhibition from Taketa」と書かれています。内面には各アーティストの紹介記事と写真が掲載されています。</p> <p>「Japan Gallery」の作品展示の様子</p> <p>作品展示の様子は、廊下でアーティストたちが作品を見たり、写真を撮ったりしている様子が写っています。</p>	

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度																														
項目		現在の状況																															
城下町・岡城跡回遊促進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																															
事業期間	平成26年度～令和5年度																																
支援事業名	市単独事業																																
計画に記載している内容	城下町と岡城跡を回遊する周遊自動車等やレンタル自転車等の交通手段を構築することにより、高齢者や身障者の来訪者に対し優しい回遊ルートを構築する。																																
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																	
<p>「岡城登城バス」の運行及びレンタル自転車の貸し出しを行った。令和2年度については、新型コロナウイルス感染対策として、登城バスの運行休止や日数の変更、レンタル自転車の貸し出し中止などの措置により、利用者数が大幅に減少していたが、運行日数を増やし利用者が増加した。また、文化財等説明板の改修(4件)を行った。</p> <p>令和5年度登城バス利用実績 延べ 2,467名(R6.3月末) 令3元年度レンタル自転車利用実績 289台(R6.3月末)</p>																																	
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																															
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		岡城登城バスやレンタル自転車の活用は浸透しつつあるが、高齢者等の移動手段として周遊バスの運行などが必要であることから、岡城跡から城下町への相互の移動手段に係る手法構築の検討を進めていく。																															
状況を示す写真や資料等																																	
<p>岡城登城バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行日数(日)</td> <td>121</td> <td>49</td> <td>56</td> <td>70</td> <td>78</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>64</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>6,204</td> <td>3,013</td> <td>4,295</td> <td>3,933</td> <td>4,041</td> <td>142</td> <td>172</td> <td>1,758</td> <td>2,467</td> </tr> </tbody> </table>  <p style="text-align: center;">岡城登城バス</p>  <p style="text-align: center;">改修を行った願成院本堂(重要文化財)の説明板</p>					H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	運行日数(日)	121	49	56	70	78	5	6	64	65	利用者数(人)	6,204	3,013	4,295	3,933	4,041	142	172	1,758	2,467
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																								
運行日数(日)	121	49	56	70	78	5	6	64	65																								
利用者数(人)	6,204	3,013	4,295	3,933	4,041	142	172	1,758	2,467																								

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の修理に関する事項		■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容 文化財の修理や整備について、有識者に指導・助言を仰いで実施している。また、文化財の修理や整備にあたっては、文献等の史料に基づいて歴史の真正性を担保とした修理・整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

岡城跡の通路整備・災害復旧、急崖部対策工事を実施した。(P5に記載)
を実施した。

宮砥八幡社社叢の支障木の除去を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	来訪者の利便性向上、安全確保のため岡城跡内の通路整備及び災害復旧工事、急崖部対策工事、宮砥八幡社社叢の社殿へ影響を与える支障木の除去を実施した。第2期計画へ引き継ぎ、文化財の保存修理を進めていくとともに、合せて公開活用を図っていく。

状況を示す写真や資料等



岡城跡糀倉跡南側災害復旧工事前



岡城跡糀倉跡南側災害復旧工事後



宮砥八幡社社叢支障木除去前



宮砥八幡社社叢支障木除去後

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 令和5年度	現在の状況
文化財の保存又は活用に関する事項		■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容 資料の保管・公開を行う施設の老朽化が進んでいるため、施設の整備を行う。また、登録有形文化財等の歴史的建造物の公開活用を図る。また、岡城跡や旧竹田荘等の本市の観光の中心となる文化財施設を回遊するルートの歩道や駐車場の整備、案内板・説明版による情報発信の実施及び、これらの整備に加えて観光案内や休息施設を備えた施設を設置、城下町から岡城跡へのアクセス方法の整備を行い観光客が訪れるやすい環境づくりを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建物修景補助事業(P3に記載) 史跡岡城跡保存整備事業(P5記載) 城下町・岡城跡回遊促進事業(P13記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	第2期計画へ引き継ぎ、城下町内の案内標識・説明板等の充実を行い、城下町と岡城跡を繋ぐ手法の構築を図っていく。

状況を示す写真や資料等



説明板・案内板の改修状況(上段:願成院本堂説明板、下段:岡城登城バス案内板)

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 令和5年度	現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する事項		■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容 竹田市景観条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。また、道路の美装化、排水路の整備、街路灯や案内板等のデザインについて、文化財及び周辺環境と調和に配慮し実施する。また、過疎高齢化により城下町内の空き家・空き店舗等が発生している。老朽建物の除却及び空き家・空き店舗の有効活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路美装化事業(P6に記載) 城下町老朽危険空き家等除去事業(P8に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	第2期計画へ引き継ぎ、竹田市景観条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。老朽家屋除去後の空き地利用について検討を行う。

状況を示す写真や資料等



道路美装化状況

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 令和4年度	現在の状況
文化財の防災に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	消防本部や警察署と連携し、文化財の盗難に対する見回りや防災点検、住民への啓発活動を実施し、文化財の防犯・防災に対する意識の向上を図るように努める。また、文化財の所有者や管理者等に対し防犯設備や消防設備を可能な限り設置するよう指導を実施する。さらには竹田市地域防災計画に記載された、有事の際の文化財保護に関する連絡体制の確認を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財防火デーに合わせ火災防護訓練を願成院本堂(重文)において実施した。 史跡岡城跡を形成する急崖部について、地震や豪雨による落石の危険性があるため急崖部対策工事を実施した。(Pに記載)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	防犯・防災意識の向上を図るための連携及び訓練等の開催を継続的に行っていく。また、来訪者の安全対策のため岡城跡の急崖部対策工事を実施していく。	
状況を示す写真や資料等		
		
願成院本堂で実施した文化財火災防護訓練の様子		
		
岡城跡急崖部の落石対策工事(ワイヤーによる岩塊固定工)		

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度			
項目		現在の状況				
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項			■実施済 □実施中 □未着手			
計画に記載している内容	市民ボランティアガイドによる案内や竹田市立歴史資料館での常設展示・企画展示・各種講座を通して、地域の歴史・文化の啓発活動を実施している。また、歴史文化に関する講演会や先人顕彰活動の拠点施設整備を行うとともに、住民や観光客が手軽に情報を得ることができる案内パンフレットの作成や観光案内施設を設置する。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
史跡岡城跡保存整備事業(P6に記載) 子ども学芸員体験事業(P13に記載) 城下町・岡城跡歴史学習事業(P14に記載) 城下町案内マップ等制作事業(P15に記載)						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	第2期計画へ引き継ぎ、地域住民へ城下町の歴史・文化の啓発、来訪者への情報提供を図っていく。					
状況を示す写真や資料等						
						
岡城跡現場説明会の様子(2024.3.3)						
						
竹田市歴史文化館でのワークショップの様子(2023.9.23)						

進捗評価シート

(様式1-5)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	令和5年度
		掲載紙等	
竹田にクリエーター集う施設 空き店舗を活用し整備	2023.4.7	大分合同新聞	
助成が支えあう場に たけたねっと、4月から専用シェアハウス運営	2024.1.6	大分合同新聞	
塾とカフェで地域おこし 持続可能な組織目指す	2024.1.19	大分合同新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町内の空き地や空き店舗棟を活用し、新たなにぎわい創出が行われ地域活性化が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	第2期計画でも空き地や空き店舗を活用した、にぎわい創出を行っていく。
状況を示す写真や資料等	

進捗評価シート

(様式1-5)

評価軸⑤-3

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	令和5年度
		掲載紙等	
湯しぶきに歓声 萩神社で「ゆたて神楽」	2023.5.7	大分合同新聞	
城下に響く「チョーサジャ」 竹田市で「夏越祭」	2023.7.23	大分合同新聞	
映える美しい古里 竹田市宮城地区で小松明祭り たいまつ千本ともる	2023.8.19	大分合同新聞	
7人大舞台で禰疑野神楽 竹田市の菅生小児童	2023.10.6	大分合同新聞	
夜神楽 観衆を魅了 竹田城原八幡社	2023.10.14	大分合同新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

コロナ化に世中止されてきた祭りや行事が再開し、伝統芸能、伝統行事の継承が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	引き継ぎ、伝統芸能、伝統行事の継承を図るため、後継者育成のための支援を行う。
状況を示す写真や資料等	

		評価対象年度	令和5年度																																																																
項目																																																																			
計画認定による観光客数の推移について																																																																			
計画に記載している内容	来訪者など多くの人々に歴史的町並みや歴史的道筋を回遊させることにより、歴史や文化を活かした観光振興に繋げていく。このため、積極的な情報発信や周辺景観に配慮した案内標識、歴史・文化遺産の説明板、駐車場等の整備を行い、『歩けるまち』、『歩きたくなるまち』の実践構築を図る。																																																																		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																																																			
<p>平成28年の熊本地震により落ち込んだ観光客数は以降増加の傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染拡大により、再度大幅な減少となっていた。竹田市歴史文館の開館、岡城ホームページやSNSによる情報発信などの効果により、コロナ化前の水準へ回復のしつつある。</p>																																																																			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																																		
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	新型コロナ終息により、観光客数の増加が見込まれるため、城下町施設やイベント等の情報発信の充実を図る必要がある。																																																																		
状況を示す写真や資料等																																																																			
<p>竹田市を訪れた観光客数の推移 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>観光客数(竹田市全体)</th> <th>岡城跡</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>3,584,473</td><td>85,990</td><td></td></tr> <tr><td>H22</td><td>3,440,409</td><td>71,042</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>3,193,584</td><td>67,130</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>3,140,600</td><td>76,148</td><td>北部九州豪雨</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3,304,492</td><td>68,326</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td>3,225,003</td><td>76,941</td><td>計画認定(H26.6)</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3,320,673</td><td>75,344</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>2,701,613</td><td>53,481</td><td>熊本地震(H28.4)</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,814,889</td><td>59,834</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>2,835,496</td><td>60,000</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>2,923,679</td><td>74,315</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>2,222,984</td><td>46,117</td><td>新型コロナ</td></tr> <tr><td>R3</td><td>2,251,437</td><td>41,548</td><td>新型コロナ</td></tr> <tr><td>R4</td><td>2,688,306</td><td>55,112</td><td>新型コロナ</td></tr> <tr><td>R5</td><td>2,830,867</td><td>55,882</td><td></td></tr> </tbody> </table>				年 度	観光客数(竹田市全体)	岡城跡	備 考	H21	3,584,473	85,990		H22	3,440,409	71,042		H23	3,193,584	67,130		H24	3,140,600	76,148	北部九州豪雨	H25	3,304,492	68,326		H26	3,225,003	76,941	計画認定(H26.6)	H27	3,320,673	75,344		H28	2,701,613	53,481	熊本地震(H28.4)	H29	2,814,889	59,834		H30	2,835,496	60,000		R1	2,923,679	74,315		R2	2,222,984	46,117	新型コロナ	R3	2,251,437	41,548	新型コロナ	R4	2,688,306	55,112	新型コロナ	R5	2,830,867	55,882	
年 度	観光客数(竹田市全体)	岡城跡	備 考																																																																
H21	3,584,473	85,990																																																																	
H22	3,440,409	71,042																																																																	
H23	3,193,584	67,130																																																																	
H24	3,140,600	76,148	北部九州豪雨																																																																
H25	3,304,492	68,326																																																																	
H26	3,225,003	76,941	計画認定(H26.6)																																																																
H27	3,320,673	75,344																																																																	
H28	2,701,613	53,481	熊本地震(H28.4)																																																																
H29	2,814,889	59,834																																																																	
H30	2,835,496	60,000																																																																	
R1	2,923,679	74,315																																																																	
R2	2,222,984	46,117	新型コロナ																																																																
R3	2,251,437	41,548	新型コロナ																																																																
R4	2,688,306	55,112	新型コロナ																																																																
R5	2,830,867	55,882																																																																	
<p>竹田市歴史文化館での特別展の様子 (令和5年秋季特別展「羽儀を整ふ」R5.10.8～R5.12.17)</p>																																																																			

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが記された会議等の名称：竹田市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時：令和6年1月15日　令和6年5月（書面開催）	
(コメントの概要) 竹田市歴史的風致維持向上計画進捗評価について 委員からの主な意見 ・10年度間で事業推進が図られていると思われるが、第2期計画でも継続して推進してほしい。 ・文化財の保護について、保存修理等が実施されたが、活用面での充実を推進する必要がある。 ・空き家、空き店舗の活用が進められているが、近年町屋の解体が進み空き地が増加している対応を考える必要がある。 ・計画10年間の総括がなされたが、新たに推進する第2期計画でも引き続き歴史的風致の維持向上を図っていただきたい。	
(今後の対応方針) ・令和6年度から推進する第2期計画において、第1期計画の内容を踏襲し、継続的な事業推進を図っていく。 ・今後も第1期計画で整備された文化財や施設の活用を図っていく。 ・城下町内で増加している空き家や空き地について、地域や所有者と協議し、可能な限り活用していく。	